

松戸市環境未来会議2025

第5回 目指せ！脱炭素な松戸市

2025 年 10月 26 日（日）13:00 ～ 17:00
キテミテマツド9階 アートスポットまつど



参加者の皆様へ

- ✓ 記録や取材のため、会議の様子を撮影、録音します。
- ✓ 動画の一部は、後日、松戸市公式YouTubeで配信します。
- ✓ 写真の一部は広報に使用する可能性があります。
- ✓ 写りたくない方は、お近くの事務局スタッフまでお声掛けください。
- ✓ 参加者が写真を撮影される場合は、他の参加者の個人を特定できない写真となるようにご配慮をお願いします。
- ✓ 十分ご配慮いただければ、その写真をSNSへ投稿していただいても構いません。

傍聴者の皆様へ

- ✓ グループワーク中については、席を立ち見ることは可能ですが、参加者への声掛けをしない、参加者の中に入り込まない、参加者の導線を妨げないでください。
- ✓ 傍聴人は、会議での発言はできません。
- ✓ 写真撮影・SNSへの投稿などは、良識の範囲内で行っていただいて問題ありません。ただし、参加者やその発言が特定されないよう、十分に注意してください。
- ✓ 動画撮影や録音は、主催者の許可がある場合以外は行わないでください。

会場の皆様全員へ

- ✓ 地震、火事等の災害時には、会場のアナウンスやスタッフの指示に従い、落ち着いて行動してください。

松戸市環境未来会議2025

第5回 目指せ！脱炭素な松戸市

2025 年 10月 26 日（日）13:00 ～ 17:00
キテミテマツド9階 アートスポットまつど



【目 的】

- ✓ 松戸市は、気候変動問題に対処するため、市民、事業者、行政が連携して取り組み、二酸化炭素排出量を実質ゼロ(＝ゼロカーボン)とすることを目指しています。
- ✓ この会議では、この問題について学びながら議論を重ね、「ゼロカーボンシティまつど」の実現に向けた取り組みをまとめます。

【参加者】

- ✓ 無作為に抽出した松戸市民から応募者を募り、世代構成や男女比が市の縮図となるように、50名の参加者を選びました。

参加者：松戸市民50名

主 催：松戸市

アドバイザー：尾内 隆之 先生（流通経済大学 法学部 法学研究科 教授）

司会進行：平野 将人 氏（一般社団法人銀座環境会議 代表）

ファシリテーター：松戸市を中心に活動する方たち

運 営：株式会社エックス都市研究所

【会議のゴール】

✓「ゼロカーボンシティまつど」の実現に向けた市民、事業者、行政の取り組みをまとめます。

ゼロカーボンアクションまつど (消費・生活編)

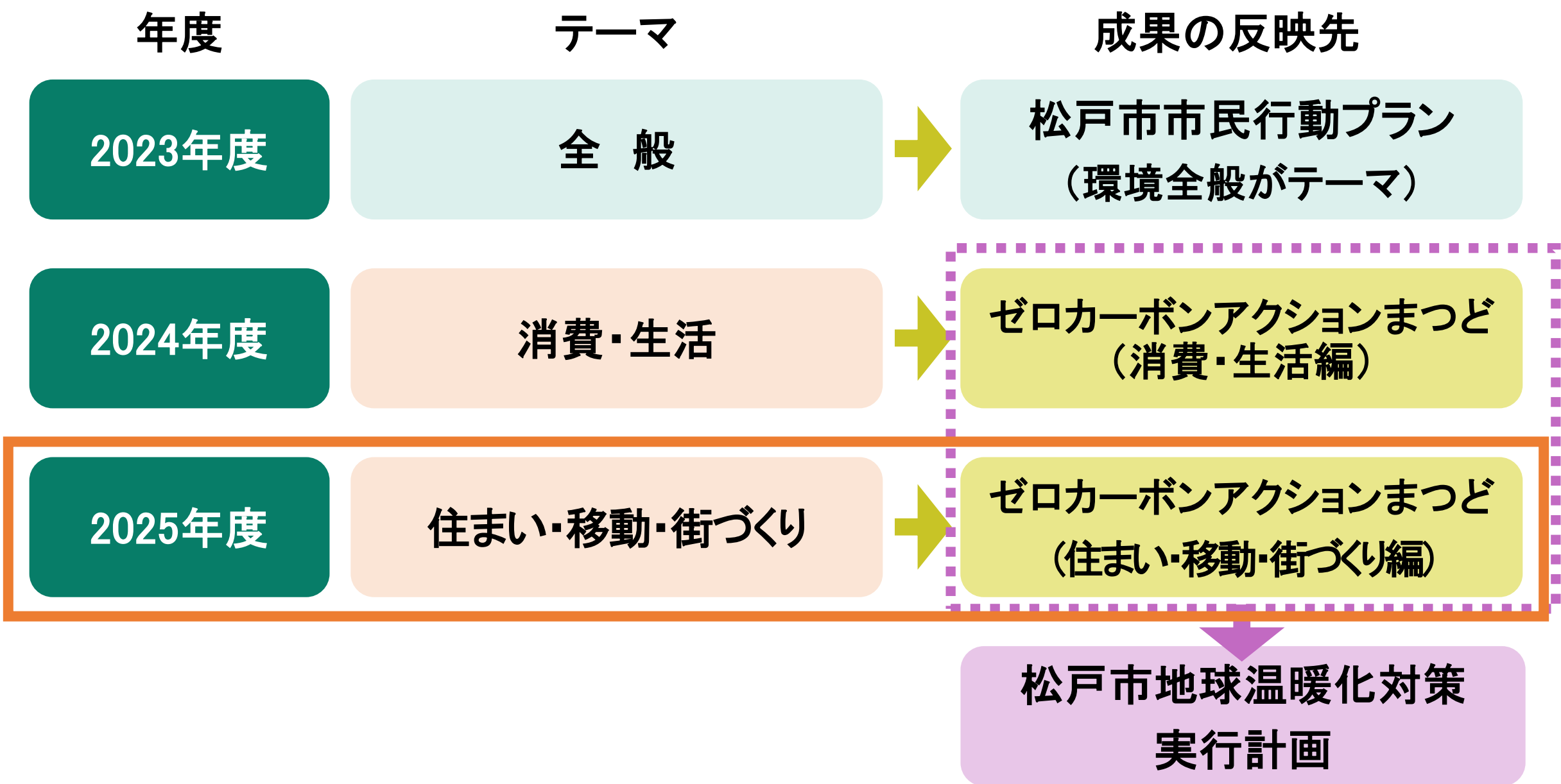
【成果の活用方法】

✓ 取り組みの内容を精査したうえで、「ゼロカーボンアクションまつど」や「地球温暖化対策実行計画」に反映していきます。



松戸市地球温暖化 対策実行計画





第1回

脱炭素を身近に感じよう！

2025年6月15日（日） 講師 江守 正多 先生

第2回

脱炭素な**住まい**について考えよう！

2025年7月13日（日） 講師 宮田 征門 先生、竹内 昌義先生



第3回

脱炭素な**移動**について考えよう！

2025年8月24日（日） 講師 松橋 啓介 先生



第4回

脱炭素な**街づくり**について考えよう！

2025年9月28日（日） 講師 倉阪 秀史先生



投票

第5回

目指せ！脱炭素な松戸市

2025年10月26日（日）

13:00～13:25	開会・前回及びこれまでの振り返り
13:25～14:05	取組提案の投票
14:05～14:20	休憩
14:20～15:15	市民を巻き込むエコアクションのグループワーク
15:15～15:40	成果発表
15:40～15:55	市民を巻き込むエコアクションの投票
15:55～16:10	休憩
16:10～16:35	市民を巻き込むエコアクション、取組提案の投票結果発表
16:35～16:45	会議の総括、松戸市よりご挨拶
16:45～17:00	写真撮影・閉会

1

市のテーマに関する情報提供



松戸市民の温室効果ガス削減目標、再エネ導入目標、立地適正化計画、松戸市民向けアンケートの速報値

2

講義

「松戸市でカーボンニュートラルは達成できるのか？」



千葉大学HPより

講師:倉阪 秀史 先生
千葉大学 大学院
社会科学研究院 教授

3

グループワークと投票

「街の構成要素・取組・目指すべき姿」



4

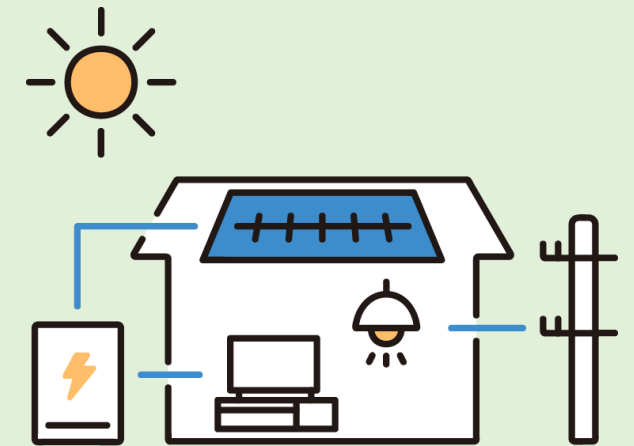
成果発表

グループワークの成果発表



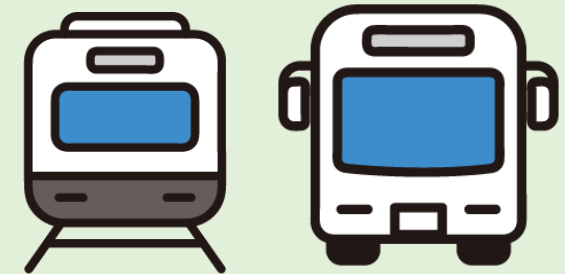
#住まい・再生可能エネルギー・省エネ設備

- ・ 市民:各家庭の屋根やカーポートに太陽光発電・蓄電池システムを導入する
- ・ 市民:消費エネルギー実質ゼロを目指す住宅(ZEH)に住む
- ・ 市民:住まいを探す・建てる時に(賃貸・マンション購入・新築一戸建て購入など)省エネ性能ラベルを確認し、なるべくZEH水準の省エネ住宅を選ぶ
- ・ 事業者:効率化された住居を提供する
- ・ 事業者:工場・商業施設の屋根や駐車場に太陽光パネルを敷設する
- ・ 事業者:オフィスビル・工場・商業施設の熱を再利用する(給湯・暖房・冷房・発電に利用)
- ・ 事業者:自社ビルや工場を新規に建てる・建て替える時には、消費エネルギー実質ゼロを目指すビル(ZEB)にする
- ・ 行政:市の駐輪場・駐車場に太陽光パネルを設置する
- ・ 行政:公共施設は先導的に再生可能エネルギー設備を100%導入する
- ・ 行政:公共施設・団地・空き家を建て直す際にZEB化する
- ・ 行政:新築住宅に太陽光パネルを設置するため補助金を交付する
- ・ 行政:事業者が太陽光発電を設置するための補助金を交付する
- ・ 事業者・行政:河川敷に太陽光発電を設置する
- ・ 事業者・行政:鉄道レールの上や駅舎に太陽光発電を敷設する
- ・ 事業者・行政:川で水力発電を行う
- ・ 事業者・行政:ごみ処理場で発電した電力や、排熱を地域で最大限に活用する



#移動・交通

- ・ 市民:マイカー使用頻度を減らす
- ・ 市民:カーシェアリングやシェアサイクリング、次世代モビリティを積極的に利用する
- ・ 市民:長距離移動時には公共交通を選択する
- ・ 市民:宅配時のラストワンマイルの排出量を削減するために宅配BOXを利用するなどする
- ・ 事業者:バスやタクシーをEV化する
- ・ 事業者:配送トラックをEV化・FCV化
- ・ 事業者:公共交通を電化する
- ・ 事業者:ガソリンスタンドを電気スタンドに転換する
- ・ 行政:自転車優先道路を整備する
- ・ 行政:熱くなりにくい道路素材を使う
- ・ 行政:電動自転車など自動車に代わる移動手段に補助金を出す
- ・ 行政:徒歩移動や自転車移動をポイント化する(健康増進と絡めて)
- ・ 行政:コミュニティバスを利用しやすくする(10分に1本のバス運行)
- ・ 事業者・行政:EV充電スポットを拡充する
- ・ 事業者・行政:自動車・自転車のレンタルを強化し、積極的に利用する
- ・ 事業者・行政:松戸市民専用ICカードで市内移動を無償化する
- ・ 事業者・行政:コンビニや飲食店にシェアサイクルスポットを置く



「街づくり」に関する提案された取組一覧 3

松戸市環境未来会議2025

#コンパクトシティ・都市機能

- 行政: 公共施設等を徒歩圏内に集中させて15分都市をつくる
- 行政: 歩きやすい・自転車に乗りやすい街をつくる
- 市民・事業者・行政: 車優先から転換し、歩行者や自転車が移動しやすい街づくりを進める
- 行政・事業者・市民: 土地空間を有効活用する(利用しない場所を減らして太陽光パネル等を設置するなど)



#緑化・自然環境保全

- 市民: 市民(市民以外も)で集まりボランティアで植樹する
- 行政: 市民に木を配る
- 事業者・行政: ふるさと納税を活用して植林・果樹園を整備する
- 市民・事業者・行政: 公園・畑・川辺・森を整備してCO₂を吸収する
- 市民・事業者・行政: 駅や商業施設を緑化する
- 市民・事業者・行政: 屋上に緑もしくは太陽光パネルを設置する



#環境教育・情報発信

- 行政: ゼロカーボンに向けた教育を強化する(幼児から高齢者まで)
- 行政: 中高生版の松戸市環境未来会議「市長になったら...」企画を行う
- 行政: 補助金のPRを分かりやすくする
- 行政: ゼロカーボンの進捗状況を適宜発信する
- 行政: 誰でも理解できる情報発信を行う(外国語・紙媒体・デジタル)
- 行政: ゼロカーボン大使(有名人)を任命する【那須川天心(プロボクサー)、琴櫻 将傑(力士)、阿部サダヲ(俳優)、ラッシャー板前(お笑い芸人)、村竹ランド(陸上競技選手)、平野レミ(料理愛好家・タレント)、涌井秀章(プロ野球選手)
- 行政: ゼロカーボンサポーター(市民)を募る



#省エネ・暮らしの工夫

- 市民: 冷房時エアコンの温度を1度上げ、暖房時エアコンの温度を1度下げる
- 市民: 既存住宅の窓をリノベして1年中過ごしやすい住まいをつくる
- 市民: 家電購入時はより省エネ性能の高い家電を選択し、家計と環境にやさしく
- 行政: 省エネ家電に補助金を出す



#その他

- 事業者: 包装用のパッケージを簡素化する
- 行政: 他自治体から電力をもらう
- 行政: コミュニティスペースを整備する
- 行政: インクルーシブ遊具を整備する
- 行政: 日射の吸収を抑える景観をつくる(白い屋根など)
- 行政: 企業に温室効果ガス削減対策を義務化する
- 事業者・行政: 空き家をコミュニティスペースに活用する
- 市民・事業者・行政: 農家や生産地と連携して農業体験を行う
- 市民・事業者・行政: 親子でクリーン大作戦を行う
- 市民・事業者・行政: 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進によるサーキュラーエコノミーの構築
- 市民・事業者・行政: 外国人との交流を行い、ごみの出し方や文化を共有する



第1回

脱炭素を身近に感じよう！



講師:江守 正多先生
東京大学未来ビジョン研究センター
副センター長・教授



第2回

脱炭素な住まいについて考えよう！



講師:宮田 征門先生
国土交通省国土技術政策総合研究所 住宅研究部 住宅ストック高度化研究室長

講師:竹内 昌義先生
東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科教授



第3回

脱炭素な移動について考えよう！



講師:松橋 啓介先生
国立研究開発法人国立環境研究所
社会システム領域 室長



第4回

脱炭素な街づくりについて考えよう！



講師:倉阪 秀史先生
千葉大学 大学院
社会科学研究院 教授



【住まい・建物／再エネ】

No.	主体	取組提案
1	市民	オール電化住宅に住み替え、再エネとの相性が良い効率的な給湯(例:エコキュート)を活かして環境負荷を下げる。
2	市民・事業者(全)	住宅や事業所(オフィスビル・工場・商業施設・物流倉庫等)の屋根やカーポート、駐車場などに太陽光発電設備を設置し、必要に応じて蓄電池を導入して、自家消費を中心とした再生可能エネルギー利用を進める。
3	市民・事業者(全)	住宅や事業所を建てる時、改修するとき、購入するとき、賃貸借するときは、建物の省エネ性能を確認し、ZEH・ZEB等を検討・選択する。
4	市民・事業者(全)	再生可能エネルギー由来の電力を契約して利用する。
5	事業者(全)	自社施設で発生する熱を回収・再利用し、給湯・暖房・冷房・発電に活用する。
6	事業者(住宅・建築)	住宅を建てる時や、改修するときには、建て主へ再エネ設備や断熱改修の導入可能性を示し、補助金・税制優遇などの支援情報を分かりやすく説明するとともに、ZEH・ZEH-Mなど高エネルギー性能の住まいを積極的に提案・販売する。
7	行政	公共施設・団地・空き家の建替え・改修では、断熱強化やZEB化を先導的に実施する。
8	行政	市民・事業者の太陽光発電設備や蓄電池の設置、省エネ・断熱改修の取組を後押しするため、補助金を拡充するとともに、減税などの優遇制度を整備し、取組メリットをわかりやすく発信する。
9	行政	東京都の例を参考に、新築住宅への太陽光発電設備の設置を条例で義務化することを検討する。(東京都では、住宅メーカーおよび大規模建築物の建築主を対象として義務化)
10	行政	訪問販売トラブル等を防ぐ独自ルールを整備し、市民が安心して太陽光発電設備を導入できる環境をつくる。

【断熱・リノベ】

No.	主体	取組提案
11	市民	賃貸住宅の居住者は、補助金情報の活用も踏まえ、大家に断熱改修や太陽光導入を働きかける。
12	市民	管理組合や地域で連携し、断熱改修に必要な費用を共同で確保する仕組みをつくる。
13	市民・事業者(全)	改修工事のときは、開口部(窓・ドア)や壁・床の断熱改修を行い、年間を通じて快適に過ごせる住まいや職場環境を整える。あわせて、窓に断熱シートやプラダン等を貼るなどのDIYリフォームを取り入れ、自宅や自社施設でも断熱性能を計画的に向上させる。
14	事業者(住宅・建築)	新築・改修では断熱性能の高い窓(内窓、Low-Eガラス、複層・樹脂サッシ等)を標準仕様とし、省エネ性能を高める。
15	行政	市民・事業者の断熱改修を支援する補助制度を拡充するとともに、減税などの優遇制度を整備する。
16	行政	健康被害の予防等の観点から、断熱住宅の効果(ヒートショック対策等)を周知し、関連施策を推進する。
17	行政	新築住宅には省エネ基準に基づく一定以上の断熱性能の確保を義務付ける。

【エネルギー使用量の見える化】

No.	主体	取組提案
18	市民・事業者(全)	検針票やWeb明細で家庭や事業所のエネルギー使用量を確認する。可能であれば、HEMS/BEMS等を導入して使用量を見える化し、運用を最適化する。
19	事業者(エネルギー供給)	市民・事業者が簡単に使用量を把握できるサービスを提供する。
20	事業者(エネルギー供給等)・行政	市全体の電力・ガス使用量やリアルタイムのCO ₂ 排出量を分かりやすく可視化し、市民の目につきやすいように定期的に公開する。
21	行政	学校で児童にエネルギー使用量の確認・比較を行ってもらい、学びにつなげる。

【緑化・自然環境保全】

No.	主体	取組提案
22	市民	松戸市環境未来会議のメンバーを中心に、市民や事業者、行政が協力して、駅や商業施設、公園・田畑・川辺・森などでの緑の維持管理や植樹活動など、地域全体での緑化を進める。
23	市民・事業者(全)・行政	庭やベランダに植物を植え、生垣や緑のカーテンを設置するほか、屋上・壁面の緑化(屋上庭園、壁面緑化等)を推進し、建物や街の緑化を進める。
24	行政	松戸新庁舎等の公共施設の緑化を進める。
25	行政	条例で緑化を義務化する、または強化する。(松戸市では、「松戸市における宅地開発事業等に関する条例」に基づき、宅地開発事業等に該当する事業を行う場合(戸建て住宅は対象外)は敷地内緑化施設に関する協議及び申請が必要)
26	行政	緑化の取組を後押しするため、種子配布や補助金交付などの支援制度を整備・拡充する。
27	行政	街路樹を計画的に増やし、歩行者空間に日陰を創出する。
28	行政	ふるさと納税を活用して植林や果樹園整備を進める。

【教育・情報発信】

No.	主体	取組提案
29	市民・事業者(全)	市が発信する環境や省エネに関する情報を積極的に受け取り、自らの生活や業務に取り入れるとともに、市民や事業者同士で環境ビジョンを共有し、協力して環境配慮行動を実践する。
30	行政	学校教育でのゼロカーボン教育を強化し、環境先進国の国際事例も取り入れて、マネー教育と同じように学ぶ機会をつくる
31	行政	中高生版の「松戸市環境未来会議」を実施し、「市長になったら…」企画などを通じて若者の意見を反映するとともに、「松戸未来会議」を継続・拡大し、市民の声を計画や施策に反映する仕組みを強化する。
32	行政	市民参加型環境イベントやアイデアコンテストを継続的に開催する。
33	行政	動画配信やセミナーを活用し、市民が自ら省エネリフォームなどを実践できるよう情報を発信するとともに、SNSや市報、紙媒体、多言語対応など多様な媒体を通じて誰でも理解できる情報発信を行う。
34	行政	補助金を利用するとどの程度お得になるかをシミュレーションで見える化し、再エネ・省エネの経済的メリットを伝える。あわせて「省エネは高い」というイメージを払拭し、市のCO ₂ 排出量や取組状況も定期的に発信する。
35	行政	ゼロカーボン大使(著名人【例：那須川天心(プロボクサー)、琴櫻 将傑(力士)、阿部サダヲ(俳優)、ラッシャー板前(お笑い芸人)、村竹ラシド(陸上競技選手)、平野レミ(料理愛好家・タレント)、涌井 秀章(プロ野球選手)】)やゼロカーボンサポーター(市民)を任命・募集し、普及を後押しする。

【自動車・公共交通1】

No.	主体	取組提案
36	市民	近距離・長距離いずれの移動でも公共交通を積極的に利用し、自家用車の利用を減らすことで、温室効果ガス排出削減に寄与する。
37	市民	宅配の再配達削減に向け、宅配BOX等を活用してラストワンマイルの排出削減に協力する。
38	市民・事業者(全)	車両の導入・更新時はEV等を優先的に選択し、必要に応じて充電設備の設置を検討する。
39	事業者(運輸・公共交通)	配送トラックや市内運行バスをEV・FCVに切り替え、環境負荷の低い車両導入を進める。
40	事業者(公共交通)	車いす・ベビーカー等に配慮した車両・サービスやパーソナルスペースの確保を進め、誰もが使いやすい公共交通にする。
41	事業者(運輸・配送)・行政	配送の相乗り(一括配送・共同受け取り)など物流の効率化を進めるとともに、空き家をコミュニティスペースとして活用し、地域の交流や環境活動の拠点とする。
42	事業者(自動車)・行政	自動運転やバッテリー等の関連技術の開発・実証・普及を後押しする。
43	事業者(自動車)・行政	自家用車の相乗り(ライドシェア等)を円滑にする仕組みを整備する。
44	事業者(自動車)・行政	市内のEV充電スポットを整備・拡充する。(職場・ショッピングモール・大型駐車場など)
45	事業者(公共交通)・行政	乗合バス、デマンドバス、隙間バスなど多様な運行形態を整備するとともに、モビリティの利便性を高めるアプリ導入などを通じて、誰もが利用しやすい公共交通を実現する。

【自動車・公共交通2】

No.	主体	取組提案
46	事業者(公共交通)・行政	バス停を改善(屋根・リアルタイム案内・遅延表示など)し、利用を促す。
47	事業者(公共交通)・行政	公共交通共通パスや市民専用ICカードを導入し、市民の公共交通料金負担を軽減する。
48	行政	市民・事業者のEV導入を支援する補助金を拡充するとともに、減税などの優遇措置を整備する。
49	行政	大型自家用車の保有に対して環境面の負担増を反映する税制措置を講じる。
50	行政	バス会社・鉄道会社への資金面の支援を行い、サービス改善や本数増加を促進する。
51	行政	運輸・配送業者にCO ₂ 削減を義務付け、必要な支援を行う。

【シェアサービス・自転車】

No.	主体	取組提案
52	市民	カーシェア・シェアサイクル・電動マイクロモビリティを積極的に活用する。
53	市民	日常の移動手段として徒歩や自転車を選択する。
54	事業者(移動販売)	移動販売や共同利用サービスを拡大する。
55	事業者(シェアモビリティ)・行政	カーシェア・シェアサイクル・LUUP等の電動マイクロモビリティを普及させ、コンビニや飲食店などにシェアサイクル拠点を設置して利便性を高める。
56	行政	自転車レーン整備や駐輪場の充実など、自転車を利用しやすい環境を整える。

【道路・都市構造】

No.	主体	取組提案
57	事業者(土地)・行政	駐車場を増やす。
58	行政	バス専用レーン等の拡充で遅延を減らす。
59	行政	地下通路・地下道を整備し、歩行者回遊性と安全性を高める。
60	行政	公共施設等は徒歩圏内に集約し、いわゆる「15分都市」を目指すとともに、商業施設の立地を誘導して地域のバランスを整える。
61	市民・事業者(全)・行政	車優先から転換し、歩行者と自転車が安全・快適に移動できる街づくりを進めるとともに、一方通行化や車両制限などにより道路交通の最適化と安全化を図る。

【ライフスタイル】

No.	主体	取組提案
62	市民	日常生活の中で、すだれや打ち水などの工夫で夏の暑さを和らげるとともに、冷暖房の設定温度を調整するなど、無理のない省エネ行動を実践する。
63	市民・事業者(全)	家電や照明は高効率機器(省エネ家電・LED等)に計画的に更新する。
64	市民・事業者(全)	在宅勤務やWeb会議等の活用で移動を減らし、業務効率と省エネを両立する。
65	行政	市民・事業者の省エネ家電購入を支援する補助制度を拡充する。
66	行政	節電や徒歩・自転車移動などの省エネ行動に対し、ポイント還元等のインセンティブ制度を導入する。

【地域エネルギー】

No.	主体	取組提案
67	事業者(エネルギー供給)・行政	エネルギーの自給自足と地域内共有(系統蓄電等)を可能にする仕組みを構築する。
68	事業者(エネルギー供給)・行政	河川敷・駅舎・鉄道レール上などの遊休空間を活用し、太陽光発電を設置する。
69	行政	公共施設・駐輪場・駐車場を含む市管理施設に再エネ設備を計画的に導入し、焼却場の発電・排熱も地域で最大限に活用する。
70	行政	再エネ供給量の多い他自治体と連携協定を結び、再エネ電力の受給を拡充する。
71	行政	企業に温室効果ガス削減対策の実施を求め、必要な支援と併せて進める。

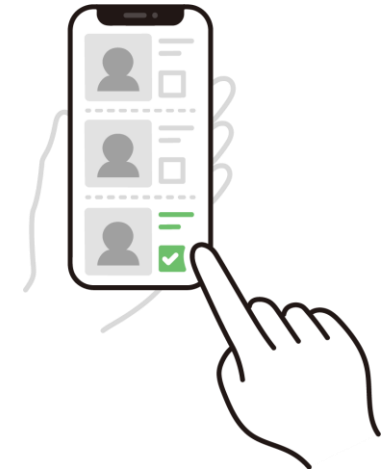
【その他】

No.	主体	取組提案
72	事業者(研究所など)	新たなエネルギー源・技術の研究開発に取り組む。
73	事業者(運輸・配送)・行政	個人タクシー制度を柔軟化し、地域交通の担い手を広げる。
74	事業者(教育)・行政	通学バス等の車両を有効活用し、二次利用を進める。
75	行政	公共サービスをデジタル化し、業務効率化と市民利便性の向上を図る。
76	行政	公園の休憩ベンチや遊具を誰もが使いやすいインクルーシブ仕様で整備する。
77	行政	空き家をコミュニティスペースとして利活用する。
78	市民・事業者(全)・行政	3R(リデュース・リユース・リサイクル)やパッケージ簡素化を通じて循環経済の構築に貢献する。
79	市民・事業者(全)・行政	屋上緑化や高反射塗装などのクールルーフ対策、熱をため込みにくい道路素材の導入などにより、ヒートアイランド現象の抑制を図る。
80	市民・事業者(全)・行政	農家や生産地と連携して農業体験を実施し、食と環境への理解を深める。
81	市民・事業者(全)・行政	親子での清掃活動など、地域の環境美化に取り組む。
82	市民・事業者(全)・行政	外国人住民との交流を通じて、ごみ分別等のルールや文化を共有する。

投票実施に向けて

- 投票時間は**30分**です。
- **WEB投票**により、その場で投票、その場で集計します。
- WEB投票は、ご自身の**スマホ**から、もしくは市の**タブレット**から（紙投票も可能）行います。
- 早く投票が終わった方は、**気になる取組にコメント**を入れてください。
- 会議の後半で投票結果を共有します。

QRコード読み込み！



- 投票は5段階評価です。
取組提案について、自分の考えに近い点数を付けます。
 - 5点…強く支持する
 - 4点…支持する
 - 3点…どちらとも言えない、わからない
 - 2点…あまり支持しない
 - 1点…支持しない
- 投票結果で過半数の支持を得られた取組提案を市民からの取組提案として冊子に残します。
- 過半数の支持とは、強く支持する(5点)・支持する(4点)と回答した人が、回答者の半分以上のものです

WEB画面サンプル

1【市民】住宅の屋根やカーポートに太陽光発電設備を導入し、必要に応じて蓄電池も設置して、つくった電気を自家消費する。

- ☐ 5 強く支持する
- ☐ 4 支持する
- ☐ 3 どちらとも言えない・わからない
- ☐ 2 あまり支持しない
- ☐ 1 支持しない



注意点

※「この回答でよろしいですか。」の案内は出ません。回答前に、自身の回答をご確認ください。

※投票した方の、個人を特定するものではありません。投票結果をお伝えしても、誰がこの投票を入れたかの情報は表示いたしません。

※投票中ご不明点があれば、会場内のスタッフにお声がけください。

投票「取組提案」

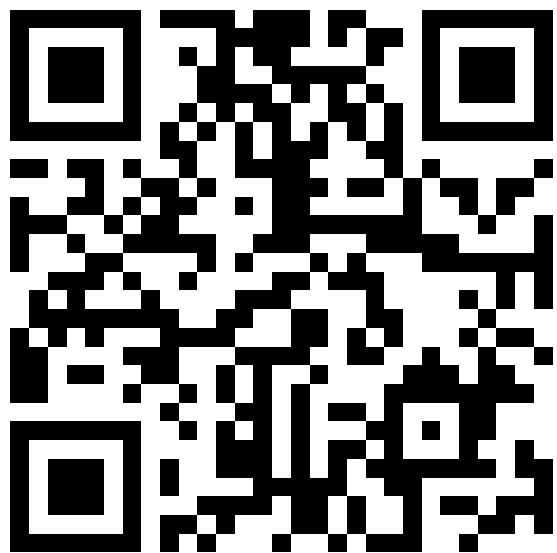
QRコードを読み取ってください。

※QRコードからブラウザに移行して回答すると、送信後に自分の回答を確認できます。

①まずはこちら



取組提案の投票

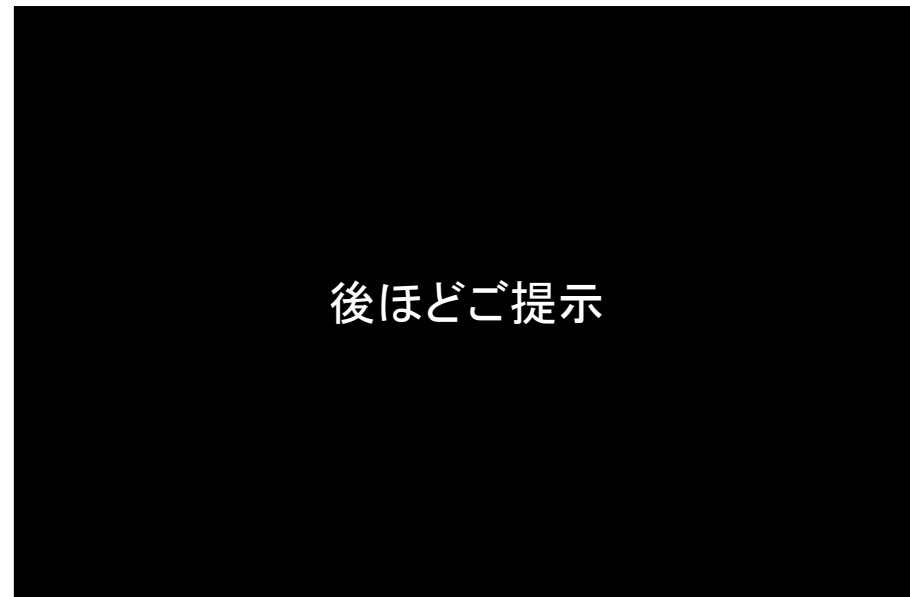


<https://forms.gle/NgyPg1FckNXJvu5R7>

②早めに終わった方はこちら



取組提案へのコメント



<https://forms.gle/p47FYY1uoQAetePo6>

グループワーク 「市民を巻き込むエコアクション」

参加者同士の自己紹介

これからやること

グループで**市民を巻き込むエコアクション**を1つ考えて、その内容を深ぼる
特に、**【住まい】・【移動】・【街づくり】**に関連したエコアクション

目的

松戸市でカーボンニュートラルを実現するのは、かなり難易度が高く、市民全体・市内事業者全体の協力が不可欠であることを会議で学びました。

この会議を「開催した」だけ、「市民の提言をまとめた」だけで、終わらせてはいけません。より多くの市民を巻き込むには、松戸市を含め会議参加メンバーの主体的なアクションが求められます。

そこで、市民(市内事業者)を巻き込むエコアクションを考え、その**【実現可能性】**や**【市民への波及度】**などについて、会議メンバーで評価します。

＜昨年最終回で参加者から出た案＞

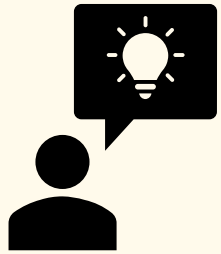
- 啓発イベント(例省エネデー)の開催
- マイボトル利用や、リユース・リサイクル・リペアの促進
- 食品ロス削減や地産地消の促進
- 生ごみのたい肥化

＜昨年の参加者との活動＞

- みらいフェスタに参加
 - 11月8日モリヒロフェスタに参加
 - 食品ロス啓発イベント計画中
 - まつど環境みらい会議設立予定
- ※来年度は使い捨て容器削減活動を実施

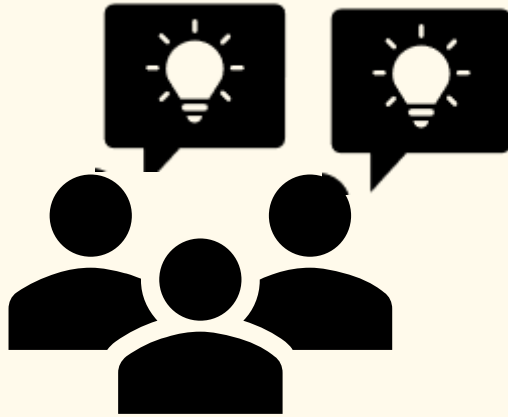


1



個人でエコ
アクションの
アイデア出し
(3分)

2



グループで話し合い
、深ぼって検討する
エコアクションを1つ
に絞る (12分)

3

【エコアクションの名称】

【6W3H】

【エコアクションのアピール
ポイント】

A black pencil icon pointing towards the bottom right.

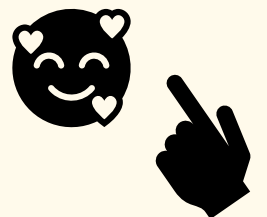
模造紙ベースでエコアクシ
ョンの企画を考える (15分)

4



発表準備
発表 (10分)
(25分)

5



投票 (15分)

【エコアクションの名称】

市民を巻き込むエコアクションを考えよう グループ1

【エコアクションの名称】

松戸市に「自然共生サイト」を会議メンバーで作る！

自然共生サイト：民間企業・NPO・地域団体・自治体などが自ら保全している森・里山・池・湿地・農地などを、国が「自然共生サイト」として認定する制度。

【6W3H】

Who（誰が）： 会議メンバー、市民ボランティア、松戸市役所（環境部）、専門家

Whom（誰に向けて）： 松戸市民（特に子育て世代、自然体験に関心のある人）、近隣住民、環境省

What（何をする）： 自然共生サイトを立ち上げ、整備活動や観察会、ワークショップを開催

Why（なぜやるのか）： 生物多様性の保全、学びの場の提供、市民のエコ意識向上

Where（どこでやるか）： 松戸市内の里山、公園、河川敷など自然資源のある場所

When（いつやるのか）： 年度内に立ち上げ、春～秋に市民参加イベントを実施

How（どうやってやるのか）： クラウドファンディングで資金調達、市と連携して土地の確保・許認可、銀座環境会議など外部団体に広報を依頼

How much（どのくらいの資金が必要か）： 数百万円（予想、専門家から情報を貰う）

How many（どのくらいの成果を目指す）： 1年で市民賛同者500人年間イベント参加者延べ1,000人

【本エコアクションのアピールポイント】

- ・ 市民の取組が、国に認められる！
- ・ 取組自体が、街の新聞などで取り上げられれば、会議の提言内容もより多くの人に知ってもらえる！



【本エコアクションの アピールポイント】

シール投票

【6W3H】

WHO（誰が）

WHOM（誰に向けて）

WHAT（何をする）

WHY（なぜやるか）

WHERE（どこでやるか）

WHEN（いつやるか）

HOW（どうやるのか）

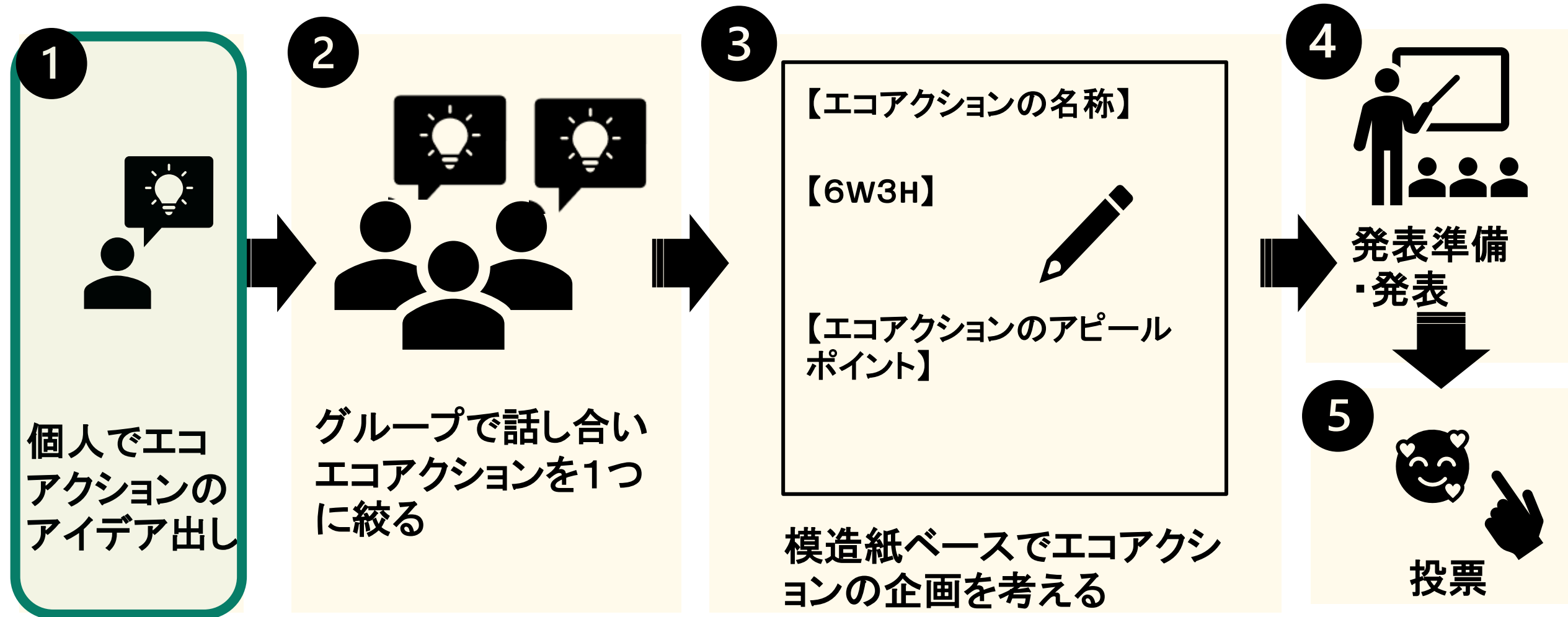
HOW MUCH（どのくらいの資金が必要か）

HOW MANY（どのくらいの成果を目指すか）

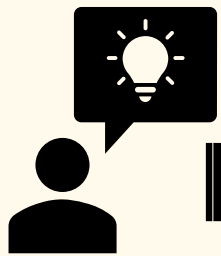
- ✓ **否定厳禁**：どんな意見がでてきてもそれを否定しない
- ✓ **自由闊達**：自由な発想を歓迎しとっぴな意見でもかまわない
- ✓ **ファシリテーター**とは別に書記さんがいるとスムーズ
- ✓ **【実現可能性】や【市民への波及度（市民がワクワクして参加したくなる内容など）】**を重視して、1つのエコアクションを早めに決める
- ✓ やることがいつもより多いので、時間配分に要注意！

個人でエコアクションのアイデアを考える(3分)

松戸市環境未来会議2025

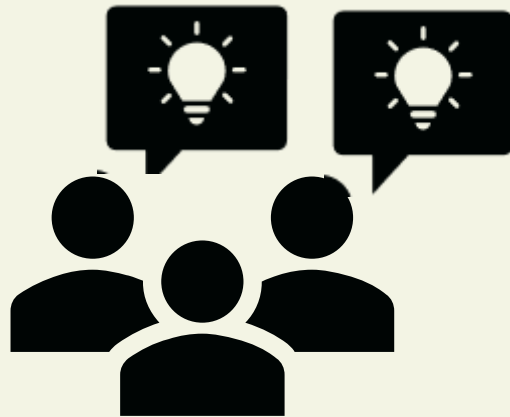


1



個人でエコ
アクションの
アイデア出し

2



グループで話し合い
、エコアクションを1
つに絞る

3

【エコアクションの名称】

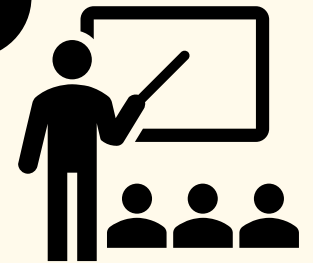
【6W3H】



【エコアクションのアピール
ポイント】

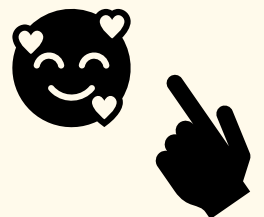
模造紙ベースでエコアクシ
ョンの企画を考える

4



発表準備
・発表

5



投票

エコアクションの提案キーワード

松戸市環境未来会議2025

市内事業者との協力・呼びかけ

- 市民太陽光発電の設置(市内事業者スポンサー)
- EV試乗会
- 高効率住宅(ZEH)の宿泊会
- 市内断熱・高効率住宅事業者 インタビュー

小中高生との交流

- 出前講座

イベント開催・参加・出展

- 自転車移動・ランニング イベント ●市内緑化
- 脱炭素移動ポイントアプリ

他都市との交流

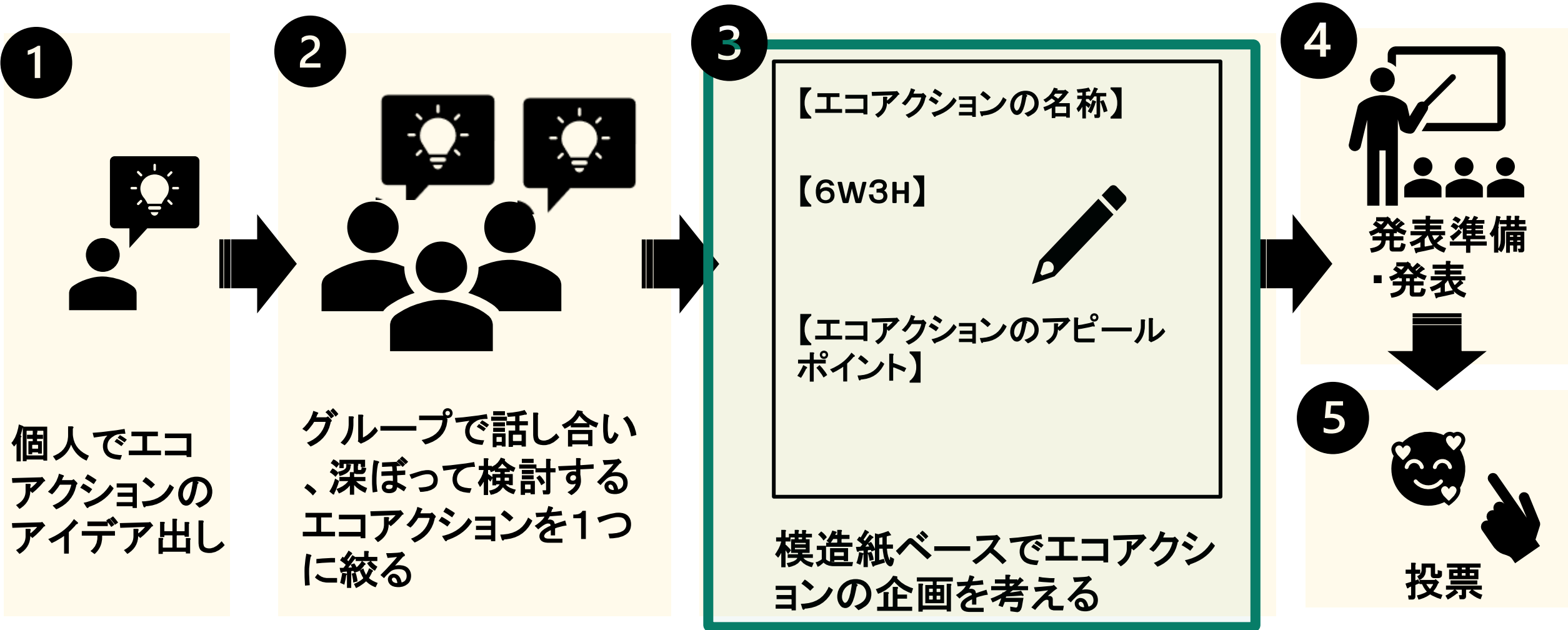
- 環境先進都市への視察会イベント
- 再エネポテンシャルの高い他都市との交流

街ぶら

- カーシェア・シェアサイクルST地図づくり
- 市内EV充電スポットさがし
- 自転車レーンが必要な場所の地図づくり

SNSや市報、メディアの活用

- 松戸出身有名人 エコな暮らしの取材



【エコアクションの名称】

市民を巻き込むエコアクションを考えよう グループ1

【エコアクションの名称】

松戸市に「自然共生サイト」を会議メンバーで作る！

自然共生サイト：民間企業・NPO・地域団体・自治体などが自ら保全している森・里山・池・湿地・農地などを、国が「自然共生サイト」として認定する制度。

【6W3H】

Who (誰が)： 会議メンバー、市民ボランティア、松戸市役所（環境部）、専門家

Whom (誰に向けて)： 松戸市民（特に子育て世代、自然体験に関心のある人）、近隣住民、環境省

What (何をする)： 自然共生サイトを立ち上げ、整備活動や観察会、ワークショップを開催

Why (なぜやるのか)： 生物多様性の保全、学びの場の提供、市民のエコ意識向上

Where (どこでやるか)： 松戸市内の里山、公園、河川敷など自然資源のある場所

When (いつやるのか)： 年度内に立ち上げ、春～秋に市民参加イベントを実施

How (どうやってやるのか)： クラウドファンディングで資金調達、市と連携して土地の確保・許認可、銀座環境会議など外部団体に広報を依頼

How much (どのくらいの資金が必要か)： 数百万円（予想、専門家から情報を貰う）

How many (どのくらいの成果を目指す)： 1年で市民賛同者500人年間イベント参加者延べ1,000人

【本エコアクションのアピールポイント】

- ・市民の取組が、国に認められる！
- ・取組自体が、街の新聞などで取り上げられれば、会議の提言内容もより多くの人に知ってもらえる！



【6W3H】

WHO (誰が)

WHOM (誰に向けて)

WHAT (何をする)

WHY (なぜやるか)

WHERE (どこでやるか)

WHEN (いつやるか)

HOW (どうやるのか)

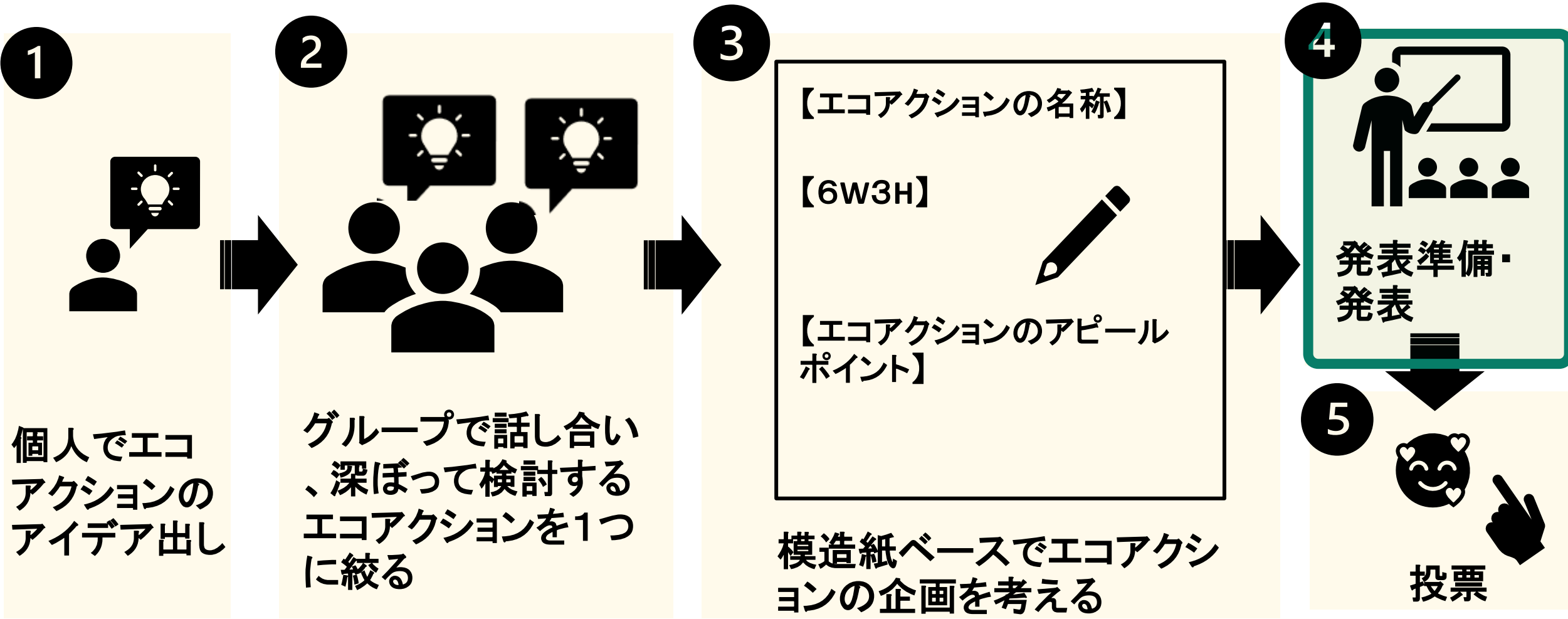
HOW MUCH (どのくらいの資金が必要か)

HOW MANY (どのくらいの成果を目指す)

【本エコアクションの アピールポイント】

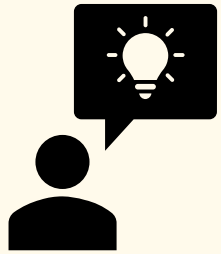
発表準備(10分)・発表(全グループ25分)

松戸市環境未来会議2025



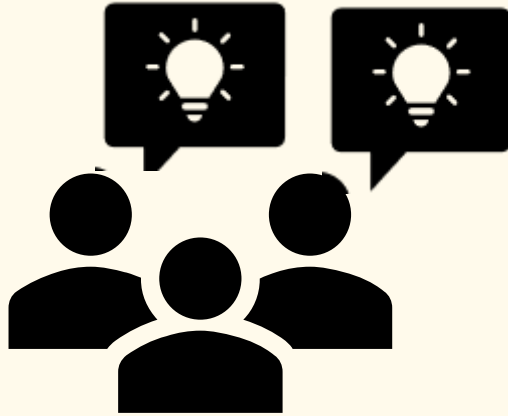
グループワークの成果発表 「市民を巻き込むエコアクション」

1



個人でエコ
アクションの
アイデア出し

2



グループで話し合い
、深ぼって検討する
エコアクションを1つ
に絞る

3

【エコアクションの名称】

【6W3H】

【エコアクションのアピール
ポイント】

A black pencil icon pointing towards the bottom right.

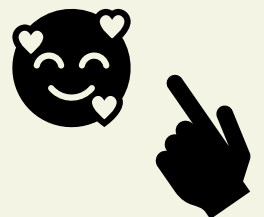
模造紙ベースでエコアクシ
ョンの企画を考える

4



発表準備
・発表

5



投票

- ✓ 1人2投票までです
- ✓ 自らのグループのエコアクションには投票しないでください。
- ✓ 【実現可能性】や【市民への波及度】、【自分が参加してみたい】エコアクションに投票してください。
- ✓ 休憩中(15分)にスタッフが数を集計するため、見やすく(重ねたりしない)、整理してシールを貼ってください。

投票結果 「市民を巻き込むエコアクション」

投票結果 「取組提案」

会議の総括

松戸市よりご挨拶

写真撮影

【ゼロカーボンアクションまつど】

- ・ 本日の投票結果を冊子「ゼロカーボンアクションまつど（住まい・移動・街づくり）」に取りまとめます。
- ・ 完成した冊子の内容・データは、皆さんにメールで共有し、市のHPにも掲載いたします。

【松戸市環境未来会議OBOG会】

- ・ 本会議のメンバーで組織します。皆様、ぜひOBOG会にご参加ください。

松戸市環境未来会議OB・OG×松戸市

松戸モリヒロフェスタで 「まだ着られる衣類」の回収&配布ブースを出展

日時：令和7年11月8日（土） 10:00から16:00

会場：21世紀森と広場「池のほとり」

内容：まだ着られるけど不要になった衣類の回収

回収した衣類の提供

その他、電気自動車の展示棟

参加：参加料無料

松戸モリヒロフェスタ
2025.11.8 Sat. 10:00 ~ 16:00
@ 21世紀森と広場 池のほとり

**「まだ着られる」衣類の回収&配布
ブースを出展します**

モリヒロフェスタが中止となった場合は本ブースも中止となります

◇どなたでも無料でご参加いただけます
◇お1人様3着までお持ち帰り可能です
◇衣類のお持ち込みのみ、またはお持ち帰りのみ
でのご参加も大歓迎です♪

[市ホームページ](#)

回収するもの	回収しないもの
<ul style="list-style-type: none">簡単に洗濯しよく乾かしたもの他の人が着られる衣類 トップス、ボトムス、ジャケット コート、シャツなど	<ul style="list-style-type: none">汚れや穴、カビなど 他の人が着られないものぬいぐるみその他衣類でないもの靴下、肌着、水着、着物 制服、体操着、ユニフォーム くつ、かばん

<注意事項>
・商店や会社などから出されるものはお受け取りできません
・1度回収したものはご返却いたしかねます
・お持ち帰り用の袋などは各自ご用意ください

お問合せ：松戸市役所 環境政策課 ゼロカーボンシティ推進担当室 ☎047-710-0243

- ✓ アンケートへのご協力をお願いいたします。
- ✓ お帰りの際にクオカードをお渡ししますので受付までアンケートと名札をもっていらしてください。その際、クオカードの受領を確認するために、サインをいただきます。
- ✓ この会場は、18:00までご利用いただけます。
参加者同士の交流の場としてご利用ください。

約半年にわたり、会議にご参加いただき
誠にありがとうございました。